

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

4月29日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生の調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの幼生は確認されませんでした（表1）。「なか」と「しも」側でその他のホヤの幼生が確認されました。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温	クロロフィル	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	9.1~9.3	0.1~9.3										
	10~20m	8.6~9.2	0.7~5.8										
	20~30m	8.1~8.5	1.4~13.6										
なか	0~10m	9.1~9.3	0.4~1.2					4	10.0				
	10~20m	8.5~9.1	0.7~2.5					1	2.5				
	20~30m	8.1~8.5	1.3~9.7										
しも	0~10m	9.1~9.3	0.3~1.1					2	4.0				
	10~20m	8.5~9.3	0.6~3.5										
	20~30m	8.0~8.5	1.5~8.9										

【参考資料】

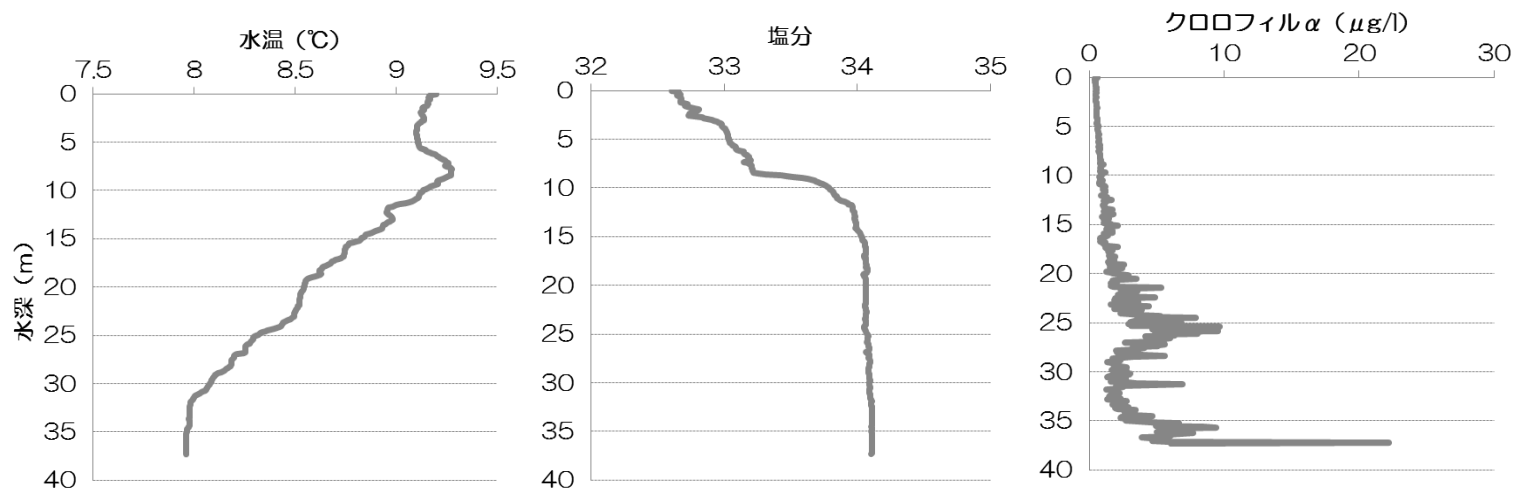


図1：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します。

次回調査は、今週後半に指導所のホタテガイ調査と平行して実施予定です。

※この調査は北海道ほたて漁業振興協会からの委託研究により実施しています。